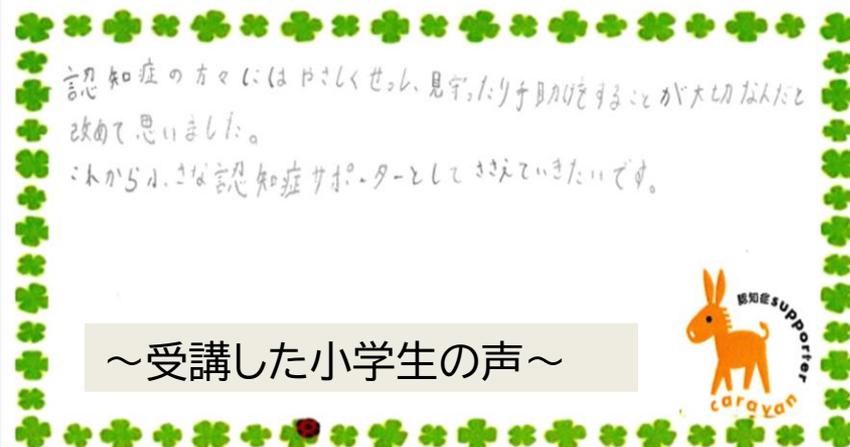


小学生向け認知症サポーター養成講座の 開催報告



認知症の方々にはやさしくせよ、見守ったり手助けすることが大切なんだと
改めて思いました。
これから小さな認知症サポーターとしてがんばっていきます。

1 開催概要

冬休み特別企画！小学4、5、6年生のみんな集まれ！

認知症 サポーターになろう！

認知症(にんちしょう)サポーターは、
認知症の人のことを知って、
温かい目で見守る人のことをいいます。
認知症の人のことを勉強して、
みなさんも自分にできることを書えてみましょう。

参加費
無料

令和8年
1月6日(火)
13時30分から15時

会場 練馬区役所本庁舎20階 交流会場
(豊玉北6-12-1 練馬駅から徒歩5分)

対象 小学校4年生、5年生、6年生と保護者(30組)
※児童のみの参加もできます！

講師 桜台地域包括支援センター 矢形 裕美 氏

申込 令和7年11月21日(金)から
電話または右の二次元コード



参加証

練馬区オリジナル認知症サポーターカード



おわりノート



問合せ・申込み
練馬区高齢者支援課
在宅介護支援係
☎03-5984-4597

日 時：令和8年1月6日(火)

場 所：練馬区役所交流会場

講 師：桜台地域包括支援センター長

参加者：子ども8名、保護者6名、

見学者12名

※小学生向けの講座の組み立てなどを勉強するため、
地域包括支援センターの職員が見学に来られました。

結 果：理解度(わかりやすかった)：

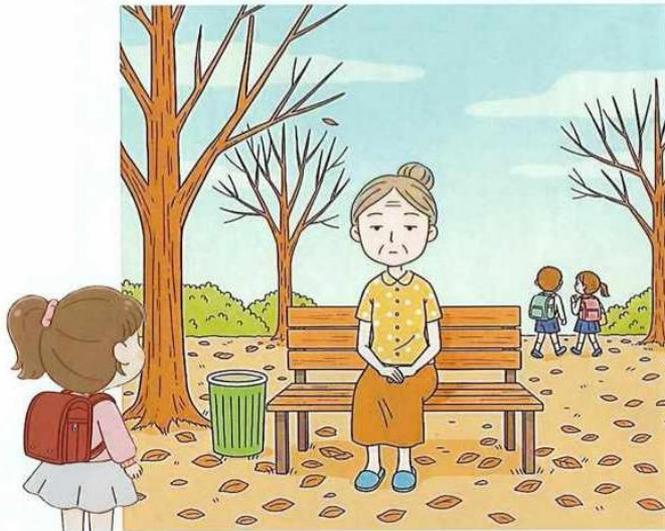
100%(子ども)

100%(保護者)

2 小学生向けのカードゲーム

あなたは登校中です。

冬の朝8時頃、通学路のベンチに座っている、スリッパ履き・上着なしの女性（70代前後）を発見。声をかけると「ちょっと一人でいたい。大丈夫ですよ」とのこと。地域包括支援センターはまだ開いていません。



YES

学校の先生に伝える

NO

学校の先生に伝えない



講師お手製の「YES」
「NO」カードにより、
参加型の講座となった。

3 今日からカード



今日から、

「おじいちゃんに、
優しくします」

「困っている人がいたら
声をかけます」

「認知症の勉強を
がんばります」

4 アンケート結果 ～子ども～

- (認知症のおじいちゃんが) 元気が無くなることに心あたりがあり、最近もあまりお出かけしなくなった。みんなで買い物に行っても車で待っていることが多い理由はこれか！！と思ったので、べんきょうしたことをいかしておじいちゃんをささえていきたいと思った。
- 認知症の人は、みんながやさしくせつすると進行をおくらせられる。
- 認知症の人はいろんな事を不安に思ってるから優しく接してあげれば良くなるということ。
- 認知症の方々にはやさしくせつし、見守ったり助けをすることが大切なんだと改めて思いました。これから、小さな認知症サポーターとしてささえていきたいです。

5 アンケート結果 ～保護者～

- いろいろな障がい者がいるだけでなく、いろんな高齢者もいることを考えさせられる内容だった。これをきっかけに今以上に心のバリアフリーが広がることを願っています。
- 低年齢にもわかりやすい内容でした。これから支えていく人達の割合が減っていく社会でこのような講座は大切だと思いました。
- 声かけの対処方法など具体例があってわかりやすかったと思います。ありがとうございました。
- 子どもに認知症について少しでもわかってもらえたと思う。
- 親子共々、良いきっかけになったと思い感謝しています。これから認知症について親子で話していけたら良いなと思います。